

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス太田教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	運動系療育を実施しようとする、定員数に比べて床面積が少なく感じる。	少しでも広さを確保する為に机いすなどを極力壁に寄せたり別室へ片したりしているが、広くは感じない。
	②	職員の配置数は適切であるか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	送迎の関係、シフト休の関係だと仕方がない部分はある。個別対応が必要になる生徒が多いと、手が足りないように感じる。	送迎の際にも、児童指導員が2名以上教室に残るようにしている。体調不良時のカバーが難しい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	段差部分に目立つテープを貼っている。	面談室・職員室への入り口に段差がある。部屋と部屋の通路が段差になっている為、配慮が欠けている。板などを使って段差がないようにすることは可能であると思う。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	朝礼等で職員全体に共有している。	上級職員による振り返りの時間が確保できていないため、頻度が少ない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	年に一回保護者アンケートを実施し、結果をホームページで公開している。	意見をいただいて、それが出来るかどうか含めて職員間での話し合いを継続する。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	ホームページや玄関に掲載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	コンサルタント会社による会議の取り入れを行い始めたが、第三者評価の依頼は実施していない。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	外部研修の案内を職員に回覧で周知している。	虐待防止や感染症対策に関する動画研修の参加を積極的に行う。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	なるべく来室していただき、顔を合わせた面談を実施するようにしている。	ICTツールの活用も視野に入れたアセスメントを考える。子どもに対するアセスメントがまだ少ない。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス太田教室

	チェック項目					工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし		
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	時間に余裕のある方に対して積極的に実施している。	外部のアセスメントツールを活用しているが、質問に答えていただくだけでも1時間以上かかってしまうため、実施がなかなか難しい。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	月ごとのイベント等、指導員同士で打ち合わせをしながら決定することができている。	日々のプログラムを考えるうえで、打ち合わせの時間が確保できていない。上級職員による研修を週に1回行っているが、足りないと感じる。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	毎日活動プログラムを実施しているが、利用日数が多い生徒にも飽きがこないよう、意識できている。	活動プログラム考案に時間がかかりすぎている。時には生徒来室の時間にも間に合わないことが多いため、児童対応職員が少なくなり、本末転倒になってしまうことがある。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	週毎のテーマや季節に沿って活動プログラムやイベントを考案している。	公共交通機関が周辺に少なく、公共交通機関を使ったイベントの考案が難しい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	教室方針は集団療育だが、子どもにより、個別支援計画に定めた個別支援を行っている。	職員間で統一した個別支援が行えるよう、情報共有や事前打ち合わせを頻繁に行う必要がある。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	朝礼システムを継続して行っている。	生徒対応や営業時間の都合により、夕礼を行うことができていない。夕礼を取り入れるためのスケジュールを考える。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	全職員がいつでも見ることができる電子システムに記録や特記事項など、残すことを意識できている。	情報共有はできているものの、対応方法や打ち合わせが当日に行えないことが多い。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	個人毎の記録を職員間で協力して残すことができている。	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	相談支援員のモニタリングも含め、総合的な見直しを実施することができている。	参加経験のない職員がいる。	

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス太田教室

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	ガイドライン総則の説明を必ず全職員に行っている。	地域住民との関わりを持たせることが依然として課題である。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	指導員同士お互いに普段から情報共有を行っている。	児童発達支援管理責任者を中心に参加しているが、人員配置的に複数人で参加することが難しい。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	保護者との情報共有をまめに行っている。	学校との情報共有する機会が中々得られない。送迎時に教員と話せる機会がある学校とない学校があるため、今後の課題だと感じる。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	アレルギーや基礎疾患の確認を毎回行っている。	医療的ケア児を受け入れすることは県の指定上できない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	知能検査結果や保護者へのアセスメント、相談支援員との共有を行っている。	施設間共有があまりなされていない。児童発達を利用していた子どもが進級して利用する機会自体も少ないため、今後の課題である。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	今年初めて、卒業と同時に障害福祉サービスを活用する利用者がいるため、担当者会議や連絡会に出席予定。	現状、人員配置的に児童発達支援管理責任者のみ出席しているが、他の職員にも同席の機会が必要。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	研修参加の機会がある時には積極的に参加している。	連携を取ることそのものが課題である。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	イベントや外出によって、交流の機会がある。	障害のない児童との交流の機会を用意することに難しさを感じる。外出先で偶然会い、一緒に遊ぶことが現状で出来る最大の交流である。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	放課後児童対策連絡協議会に連名している。また、エリアごとの打ち合わせに出席している。	自立支援協議会との交流がない。協議会への参加の案内自体もないため、確認が必要。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス太田教室

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	利用終了後、必ず保護者との話し合いの場を設けており、その日あった出来事や支援に関しても情報共有を行っている。	家庭環境における子どもの状況把握のため、保護者に聞いているが、場合によっては祖父母や送迎サービスを活用している家庭もあるため、情報共有の機会が少ない。
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	相談支援を行っている。	ペアレントトレーニング技術の習得が難しい。研修機会のタイミングが中々ない。
保護者への説明責任等	㉒ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	質問を含め、契約時に不明な点が残らないよう、時間をかけて丁寧に説明を行っている。	現状、管理者のみが実施している。他の職員では勤続年数上、まだ丁寧な説明は難しい。
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	相談支援を行っている。職員全員、相談援助に対する意識が前向きである。	相談援助技術の向上。専門的知識の習得。
	㉔ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	実施していない。	保護者同士のつながりの提供ではなく、保護者の知識向上のため、自由参加にて勉強の機会の提供も考えている。
	㉕ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	苦情受け入れ態勢は整えている。	現状、苦情を受けたことは一度もないため、苦情の申し出があった際には落ち着いた対応ができるか、事前に研修が必要。
	㉖ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	教室のイベントや報告も兼ねた通信、また、利用者一人一人の記録を作成し、保護者へお渡ししている。	ICTを活用した情報共有システムを、個人情報の漏洩に気を付けたうえで取り入れていきたい。
	㉗ 個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	教室開所中も、外部の方の来室がある際には、利用者の個人情報が含まれる書類は片づけるなど、細心の注意を払っている。	鍵付きのキャビネットに保管するべきものと、そうでないものが混在している。
	㉘ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	視覚的教材や、意思疎通のためのアイテム等、その利用者に合った方法を模索し続けている。	口頭での支援がまだまだ多い。将来的には機会を活用したコミュニケーションを教室でも先んじて取り入れる必要があるのでは、と感じる。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハッピーテラス太田教室

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	地域の祭りや地域資源ものの活用をしている。	職員のみでも地域への参加を積極的に行う必要がある。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	情報共有の場を少しずつ設け始めた。	マニュアルの全理解が難しいほど、膨大な量がある。職員研修だけでも、普段の業務に追加するとなると、時間が足りない。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	年に2回以上、避難訓練を実施している。	実際の避難経験をした職員がいないため、発生時には落ち着いた対応ができるよう、準備を継続して行う。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	月例の教室会議の際にも取り入れるようにしている。	初級職員への導入に難しさがある。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	個別支援計画に明記しているうえ、どういった状況で身体拘束が行われるか、職員に月例会議においても研修を行っている。	記録方法のさらなる改善を検討したい。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	契約時に必ず申告をいただくうえ、食事に関するイベントの際には事前確認を行っている。	医師の診断書が必要になるほど深刻な食物アレルギーを持った生徒がいない。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	教室であったヒヤリハットを記録し、冊子にまとめることでいつでも見られるようにしている。	記録を作成する時間に限りがあり、すべてのヒヤリハットを残せているとは言えない。

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。